

佐土原 R C

週報



国際ロータリー第2730地区
佐土原ロータリークラブ
 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
 例会場 ホテル神宮寺 0985-73-0015

Real Happiness is Helping Others
 人の幸福は人助けから

ロータリー財団月間

1992. 11. 13 (金) 第246回例会
1. 点 鐘
 2. ロータリーソング「奉仕の理想」
 3. 「四つのテスト」唱和
 4. 会長の時間
 5. 幹事報告
 6. 各委員会報告
 7. 会員卓話 藤堂孝一君
 8. 点 鐘

第245回例会記録
 (1992. 11. 6)

会長の時間 岩切正司
 皆さん今日は、本日は第245回例会です。先週の金曜日(10月30日)に宮崎市郡6RCの会長・幹事会が宮崎市で開かれました。主な協議事項の一つは来年度のガバナー事務所の新設についてでした。宮崎RCから三重野良輔君がガバナーノミニーに選任されましたので、ガバナー事務所の開設費として宮崎RCは会員1名1万円、他の宮崎市4RCからは会員1名6千円、ガバナーノミニーが75万円を拠出する案が検討されました。もう一つは、岩下哲夫地区拡大増強委員長から、第2730地区の会員増強は横ばい状態にある、新クラブの会員数しか増えていない、つまり、既設クラブは新加入会員数と退会員数がほぼ同数で、会員増強の実績が上がっていない、との問題提起があり、それについて意見交換を行いました。

佐土原クラブの会員増強が遅々として進んでいないことを岩下委員長も憂慮しておられるであろうと思いますと、汗顔の至りでした。何とか頑張らなければと考えます。明日は鹿児島市のR1第2730地区大会でお会いしましょう。

幹事報告 藤堂孝一

1. 例会変更の通知は来ていません。
2. 11月7日のR1第2730地区大会参加者に会場(城山観光ホテル)案内図をお配りしました。
3. 大阪難波RC村上祥郎君から、ロータリーの友11月号掲載の「ロータリアンの令息、令嬢の仲人を始めます」文の追伸が送ってきましたので、配布しました。
4. 11月27日の例会は職場訪問で、シーガイアを見学します。

出席報告 委員長 神宮寺 利夫

会 員 数	16名
欠 席 者 数	1名
HC出席者数	15名
出 席 率	93.75%
欠 席 者 名	鈴木

ビジター
 西都RC 藪押邦弘君

職場訪問について 副会長 児玉武文
岩切会長から要請がありましたので、関係
者と協議し、シーガイアの工事現場職場訪問
の日程を次のように計画しました。

- 11月27日(金)シーサイドホテル・
フェニックスで昼食後、車で工事現場へ
- 13:00~13:30現地の縮図及び
広報ビデオによりシーガイアの全体説明

親睦委員会より 委員長 郡司武俊
11月セレモニーは、今月
結婚記念日を迎えられる佐野 保君
に、岩切会長から記念品を贈呈して祝福申し
上げます。

☆受祝者のハッピー・ボイス

本日は結婚祝いを有難うございました。
二人で、残された人生を楽しく過ごしたい
と思います 佐野 保

佐野 保君から多額のハッピーを戴きま
したので、厚くお礼申し上げます。

会員卓話 濱田 松太郎
はじめに最近の新聞記事から特に感じたこ
とを……。

○わが国の政界は佐川疑念を発火点として、
金丸 信経世会長の議員辞職、竹下 登元
総理の右翼・暴力団との関係、竹下派の分
裂など大きな問題に発展してきました。

一日も早く政界が浄化されることを祈念
するものであります。

○アメリカの大統領選挙では、クリントン
氏が46歳の若さで、ブッシュ氏を破り大
統領に就任しました。わが国では考えられ
ないことです。日本の場合は、国会議員に
数回連続当選して、はじめて首相の地位に
就く資格が得られるのです。

さすがにアメリカは民主主義の国である
なあと感心いたします。

クリントン大統領は、アメリカの経済の
立て直しに全力を尽くすでしょう。それが
公約であるからです。従って、今後ますます
日米貿易の不均衡に対する風当たりが厳
しくなるであろうと思われます。

○日中友好20周年を記念して、日中合同
登山隊がチベットのナムチャバムト峰の登
頂に成功しました。日本6名、中国6名か
らなる登山隊で、年中霧や雪に閉ざされて
“謎の山”と言われている、前人未踏の山
を征服したのであります。これには、気象
衛星からのデータにより、10月30日が
登頂のための最適な条件を備えていること
を確かめることができたからです。

○貴花田関と宮沢りえの婚約のニュースは
明るく爽やかで、皆が祝福しました。福岡
場所で貴花田関が優勝し、一日も早く大関
に昇進するよう期待しております。

ところで、11月はロータリー財団月間
であります。ロータリー財団担当の立場から、
少しお話ししたいと思います。

ロータリー財団の目標は、国際レベルの人
道的、教育的プログラムを通じ世界理解と平
和を達成することです。

第6代RI会長アーチ・克蘭フ氏が、世
界のためになることをしようではないかと、
1917年の国際大会で提唱し、全会一致で
承認され、ロータリー財団が創立されたので
す。1947年(昭和22年)にポール・ハ
リスが亡くなると、世界中のロータリアンが
ポール・ハリスを追悼して、ロータリー財団
へ寄付をしました。財団では、それを基金と
して、翌年からプログラムを実施しました。

最初は7ヶ国の18人の奨学生に、大学院
課程奨学金を支給しました。

ロータリー財団では毎年、大学院課程、大
学課程、職業研修、ジャーナリズム、障害者
教師への補助金を約1000件、研究グル
ープ交換補助金として毎年320件、同額補助
金並びに保健・飢餓追放・人間尊重補助金を
通じて300件を超す国際プログラム、自国
以外の国、特に開発途上国で教鞭を執る大学
教員への補助金、多くの子どもをポリオから
守るための予防接種活動、海外での国際ボラ
ンティア活動への補助金162件等を支出し
ております。

来るべき21世紀は、ロータリーが世界の
中心的役割を担っていく時代なのであります。